



**662万円** アートヴィレッジ  
とうおん創生事業  
舞台芸術を通じて「まち・ひと・し  
ごと」の好循環を生み出す事業です。



**1億7,176万円** スマートインター  
チェンジ整備事業  
防災・医療施設などへアクセス性を  
高めるため整備を進めました。



**5,238万円** 小学校施設  
大規模改修事業  
小学校屋内運動場の照明設備の改  
修工事などを行いました。



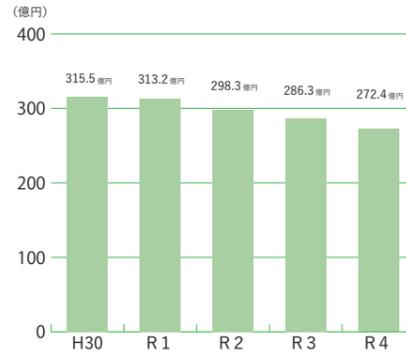
**5,372万円** 健康診査  
がん検診事業  
疾病の発症や重症化の予防、疾病  
の早期発見を図りました。

表② 一般会計決算収支

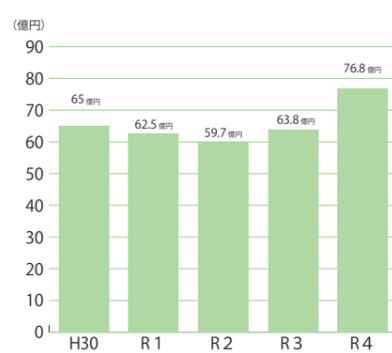
収入額	支出額	翌年度に 繰り越す財源額	実質収支
187億286万円	174億7,793万円	1億3,408万円	10億9,085万円

収入額 - 支出額 - 翌年度に繰り越す財源額 = 実質収支

図②-2: 全会計の市債残高



図②-1: 全会計の基金残高



もしも家計に例えたら 東温市の令和4年度決算を  
月収30万円の家計に例えてみました

収入	支出
<ul style="list-style-type: none"> <li>給与(市税、使用料、諸収入など) 95,900円 (32%)</li> <li>預金の取り崩し(繰入金) 8,800円 (3%)</li> <li>前月からの持ち越し(繰越金) 19,100円 (6%)</li> <li>親からの仕送り(地方交付税、国庫支出金など) 168,100円 (56%)</li> <li>銀行からの借入れ(市債) 8,100円 (3%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食費(給与、報酬など人件費) 53,100円 (19%)</li> <li>医療、教育費、保険料(扶助費や補助費など) 85,400円 (30%)</li> <li>光熱水費、電話代(消耗品など物件費) 39,300円 (14%)</li> <li>子どもへの仕送り(特別会計への繰出金) 24,000円 (9%)</li> <li>ローンの返済(公債費) 27,500円 (10%)</li> <li>家の修繕(道路整備などの普通建設事業費など) 21,300円 (7%)</li> <li>預金(積立金) 29,600円 (11%)</li> <li>翌月への持ち越し(繰越金) 19,800円</li> </ul>

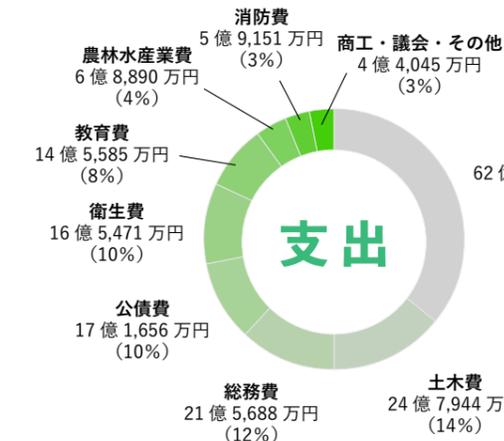
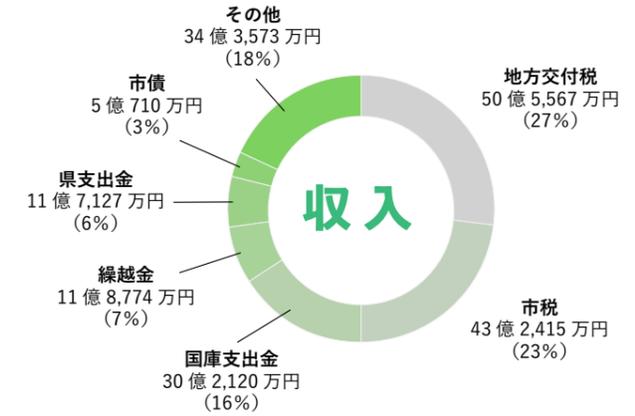
自分たちで稼いだお金 104,700円  
生活費 201,800円

ます(表②)。  
市の会計には、一般会計と区分して経理を行う特別会計と、独立採算制を原則に事業を行う企業会計があります(表①)。特別会計は国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、田窪第2工業団地に、令和4年度から吉久工業団地が追加されました。  
全会計の基金残高は76億7,775万円で昨年度比で、12億9,842万円増加しました。市債残高は272億3,603万円で昨年度比で13億8,936万円減少しています(図②)。厳しい財政状況が続いており、今後も市政のため、財政基盤の維持に努めます。

図① 一般会計の収入と支出

187億  
286万円

収入その他には使用料、手数料、負担金などが含まれています



174億  
7,793万円

表① 会計別の収入と支出

会計名	収入	支出	差引額	
一般会計	187億286万円	174億7,793万円	12億2,493万円	
特別会計	国民健康保険	39億5,721万円	35億4,477万円	4億1,244万円
	後期高齢者医療	4億8,772万円	4億5,901万円	2,871万円
	介護保険	44億182万円	39億2,866万円	4億7,316万円
	田窪第2工業団地	7億472万円	7億472万円	0円
	吉久工業団地	2,815万円	2,815万円	0円
小計	95億7,962万円	86億6,531万円	9億1,431万円	
企業会計	収益的収支	8億7,507万円	10億1,026万円	△1億3,519万円
	資本的収支	3億875万円	5億7,690万円	△2億6,815万円
	計	11億8,382万円	15億8,716万円	△4億334万円
	収益的収支	12億4,308万円	10億4,608万円	1億9,700万円
下水道事業	資本的収支	5億3,602万円	8億3,346万円	△2億9,744万円
	計	17億7,910万円	18億7,954万円	△1億44万円
合計	312億4,540万円	296億994万円	16億3,546万円	

※万円単位で四捨五入しているため、合計及び差引額が合わない場合があります。

一般会計の令和4年度決算は、昨年度比で収入は約4億円、支出は約4億5千万円減少しました。収入では、子育て世帯等臨時特別支援助事業費補助金の減少などで、全体で2.2%の減少となりました。支出は子育て世帯等臨時特別交付金事業費の大幅な減少などで全体で2.5%減少となりました。歳入と歳出の実質的な差額を表す実質収支は、10億9,085万円の赤字となつています。形式収支(歳入と歳出の差額)から翌年度に繰り越すべき額を差し引いた額となる実質収支は地方公共団体の財政運営が赤字か赤字か判断する要素として重要とされています。

ま  
ち  
の  
家  
計  
簿  
令  
和  
4  
年  
度  
決  
算  
報  
告

一般会計では収入が187億286万円、支出が174億7,793万円、前年度から収入・支出ともに減少しました。

【用語解説】  
■一般会計…福祉やゴミ処理、道路や公園整備、教育など行政サービスの経理を行う会計  
■地方交付税…全国一定の行政サービスを確保するため人口や税収に応じて国から交付されるもの  
■市税…市民税、固定資産税など  
■国庫(県)支出金…市が行う事業に対する国・県からの補助金など  
■市債…国や金融機関などから資金調達する市の借入金  
■繰越金…前年度から繰り越された剰余金  
■民生費…児童福祉や障がい者福祉など、福祉全般の経費  
■総務費…市有財産の維持管理や戸籍管理、地域振興などの経費  
■教育費…学校教育や文化・スポーツ振興の経費  
■公債費…国や金融機関などから資金調達した借入金を返済するための経費  
■衛生費…ゴミ処理や環境保全、病気の予防などの経費  
■土木費…道路や公園の整備、市営住宅の維持管理などの経費  
■農林水産業費…農林業振興、生産基盤整備などの経費  
■基金…特定の目的のために積み立てられた資金・財産